

白鶴美術館 春季展

# 映し、写しと 文様の美

～白鶴コレクションにみる東洋のこころ～

本館



上「鍍金画文帯四神四獣鏡」 後漢時代  
下「漢円鏡」【白鶴帖】(天)  
明治40年発行より



「鏡」金文

石清水臨時祭年中行事騎射図屏風  
六曲一双の内左隻 部分 冷泉為恭筆 江戸時代  
展示期間：4/5(火)～5/8(日)



「罍」金文  
「罍」金文  
春秋～戦国時代



Mogan, Caucasus (モーガン, コーカサス)  
20世紀初期

美術品としての絨毯  
文様の今昔

新館

# 鑑

## 2016年 3月1日(火)～6月5日(日)

休館日 月曜日 但し3月21日(振替・月)は開館、3月22日(火)を休館

開館時間 午前10時～午後4時30分(但し入館は午後4時まで)

催し  
講演会 5月1日(日) 演奏会 5月5日(祝・木) 新館レクチャー 5月15日(日)  
美術に親しむ会 4月24日(日) ワークショップ 5月中の毎週日曜日  
アート・トーク(スライド解説) 3月13日・27日、4月10日、5月8日・22日、6月5日の各日曜日

入館料 大人：800円 65歳以上・大学・高校生：500円  
中・小学生：250円  
(大人・大学・高・中・小学生団体20名以上は2割引)



- 阪神御影駅、JR住吉駅から市バス38系統渦森台行「白鶴美術館前」下車
- 阪急御影駅から北東約1km(徒歩15分)
- 阪神高速道路3号神戸線、大阪方面：魚崎出口から1.5km 姫路・明石方面：摩耶出口から6km
- 無料駐車場あり(大型バスも可)

公益財団法人  
白鶴美術館  
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

(問い合わせ先)  
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1  
TEL.FAX.078-851-6001  
<http://www.hakutsuru-museum.org/>

HAKUTSURU

## 映し、写しと文様の美 ～白鶴コレクションにみる東洋のこころ～

本館

今回は当館所蔵品を「うつし」のテーマでみてまいります。

映す道具である「鑑」<sup>かがみ</sup>の字形は、大きな水甕をのぞきこむ人<sup>かたど</sup>を象つたものとされます。そして鑑物と称される歴史書の「鑑」のように、映しみる機能から転じて、認識し手本とする意味を含んでいます。

美術作品もまた、その時代の技術や思想・造形感覚を示す鏡といえるでしょう。すなわち、異なる素材であっても同じ文化における共通の表現や造形は、その思想を反映します。また、多くの優れた作品は、人びとの憧れの対象となり、手本となって写されました。

こうした美術の「写し」には、筆の正確さを求めた絵画の模写や、失われた材料や技術の再現を求めた近代の正倉院模品のように、先人の表現を学び、捉えようとしたものがあります。また、地域、時代・年代を経て伝播する類似の形状や文様、また古典の物語絵などにもみられるように、変容しつつ伝わることも「写し」がもたらす文化であるといえます。

この展示では「思想を映す」・「形を写す」というふたつのテーマを基に、個々の作品を作成された時代に照らしてご覧いただけます。東洋のこころを写す古美術、その写しもまた、「鑑」であり、それを見つめる私たちの文化を豊かにするものである、といえるのではないのでしょうか。



青磁牡丹文大鉢 明時代



禾目天目茶碗 南宋時代



白銅海獣葡萄鏡 唐時代



正倉院模品 墨絵弾弓 森川杜園作 明治時代



楼閣人物文螺鈿盒子 元時代  
展示期間：4/19(火)～6/5(日)



酒天童子絵巻 下巻 江戸時代 展示期間：4/5(火)～5/8(日)

## 美術品としての絨毯 ～文様の今昔～

新館

我々の日常生活にかなり浸透し、馴染みのある絨毯。絨毯をみる際、私たちは茫漠としたイメージで全体を捉えがちですが、そこには実に多種多様な文様が織り成されており、その中には、伝統を映し、写し続けられた文様と共に、製作時に革新的に生み出されたものもあります。また西洋絵画の中にも、モチーフの一つとして当時使われていた絨毯自体が写し込まれ、美術の歴史の展開の中で絨毯を捉えると、そこに重層的に存在する価値に気づくことができます。

本展示では、主に19世紀後半～20世紀初頭に製作された白鶴美術館所蔵のオリエント絨毯の悠久の歴史と清新な息吹に満ちた世界へと皆様をお連れします。



イスファハン、ペルシア中央部 (アーマツ工房) 20世紀初期



フェルテック、アナトリア中央部 19世紀中期

### 講演会

日時：5月1日(日) 午後2時～3時30分  
講師：和泉市久保惣記念美術館館長  
大阪芸術大学教授 河田 昌之 氏  
演題：「行事とその画題 一年中行事と行事絵を中心に」

### 演奏会

日時：5月5日(祝・木) 午後2時から  
演奏：尺八・解説 岸本 靄山 氏  
箏・十七絃・三絃 グループ「はなすいれん」  
テーマ：「楽に映し、楽を写す」

### 新館レクチャー

日時：5月15日(日) 午後2時～3時30分  
講師：神戸大学大学院教授 宮下 規久朗 氏  
テーマ：「西洋絵画に見る絨毯」

### 美術に親しむ会

日時：4月24日(日) 午後1時30分～3時30分  
テーマ：「映す美術・写された美術」 講師：当館学芸員

### アート・トーク

日時：3月13日・27日、4月10日、5月8日・22日、  
6月5日の各日曜日 午後2時～3時  
テーマ：「展示品の魅力を語る」  
当館学芸員によるスライド解説

### ワークショップ

日時：5月中の毎週日曜日 午後1時～4時  
「拓本～紙と墨で写すかたち」  
「リバーシブル?!～作ってわかる屏風の裏技～」  
指導員：神戸学院大学人文学部 大原ゼミ